

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.206
2018. 9. 30

特集

ASEACCU学生会議2018を
広島で開催

インターナショナルウィーク初開催



NANZAN
UNIVERSITY



THE 26TH ASEACCU CONFERENCE 2018

第26回ASEACCU(東南・東アジアカトリック大学連盟)総会及び学生会議

ASEACCUとは?

ASEACCU(The Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities)は、オーストラリア・カンボジア・インドネシア・フィリピン・タイ・台湾・韓国・日本の80校が加盟しており、各加盟校の連携・協力により、カトリック高等教育の国際的な発展に寄与することを目的としています。年に1度開催する総会及び学生会議では、テーマに基づき加盟校の代表学生と英語でグループディスカッションやプレゼンテーションを行い、アジアの若い世代の直面する問題についてカトリックの視点から理解を深めます。第26回を迎えた今回は、8つの国と地域から200名を超える学生と教職員が参加しました。

テーマ:Catholic Education and Peace Initiatives

期間:2018年8月21日~8月26日 場所:エリザベト音楽大学及び広島県内

このテーマには、世界で初めて核爆弾が投下され、壊滅状態から国際平和都市として見事に復興を遂げた広島に集まり、3つの視点(一人ひとりの心の平和、政治的な意味の平和、環境と平和)をテーマとする各プログラムに参加することで、カトリック大学とそこに所属する学生・教職員がともに平和への一歩を踏み出そうという意味が込められています。

8月22日



被爆証言(近藤絃子氏)



広島神楽鑑賞(山王神楽団)



期間中は毎朝のミサで1日が始まります。

8月24日



講演:Traces of the Divine: Peace and Reconciliation in the Novels of Shusaku Endo (金承哲南山大学教授)



フィールドワーク(宮島)

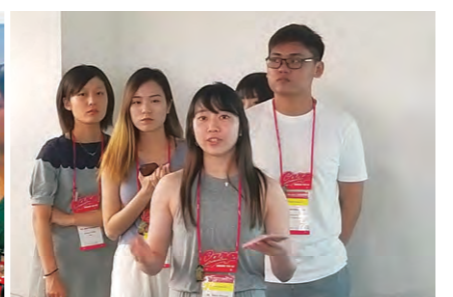


各国の学生によるcultural performance

8月25日



各国・地域の学生によるプレゼンテーション(テーマ:Catholic Education and Peace Initiatives)



南山大学からの参加学生



〈参加学生のコメント〉

この会議で出会った学生は、将来様々な分野でピースメーカーとして活躍していく可能性がある人ばかりでした。私はその素敵な仲間と5日間を共有し、議論しあえたことがとても嬉しいです。仲間からの優しさやサポートに、私は平和を感じました。私たち一人ひとりができる小さなことから平和は生まれるのだと確信しました。

(外国語学部英米学科3年 石田 祐子)

(写真左手より)

浅野 翔矢さん(理工学部機械電子制御工学科2年) 尾関 ほの香さん(外国語学部英米学科3年)
石田 祐子さん(外国語学部英米学科3年) 木鎌 汐里さん(理工学部ソフトウェア工学科2年)
井高 凜子さん(国際教養学部国際教養学科2年) 古川 彩さん(人文学部人間文化学科3年)

International Week

国際センターでは、2018年度から様々な国や地域を紹介することを目的として、インターナショナルウィークを開催しています。

今回第1弾として東南アジアウィーク、第2弾としてロシアウィークをR棟2階多文化交流ラウンジ(Stella)で開催しました。

2018.6.18-2018.6.22

東南アジアウィーク

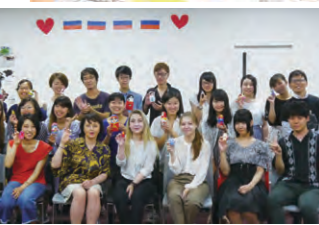
インドネシア、タイ、フィリピンから来た留学生が、それぞれ母国の生活や文化についてはもちろんのこと、ガイドブックに載っていないお勧め観光スポットや旅で役立つ現地語フレーズなどを紹介しました。他にも、伝統衣装の試着や、マレーシアで人気があるコーヒーの試飲など、文化体験ができるコーナーも設置しました。最終日にはマレーシアの高校生との交流会、マレーシアに関する講演会もあり、期間中は多くの学生で賑わいました。

学生食堂のリアンカフェとBISTRO CEZARSでは、「東南アジア料理フェア」を同時開催。リアンカフェでは、学生TAのNanzan International Ambassador(NIA)と留学生が食堂と共同で考えたメニューを日替わりで提供し、連日大盛況でした。

2018.7.2-2018.7.7

ロシアウィーク

多文化交流ラウンジでの民芸品販売や伝統衣装の試着、学生食堂でのロシア料理フェアなどが行われ、多くの学生や教職員がロシア文化を楽しみました。期間中の4日には、今年5月に交換協定を締結したロシアのハバロフスクにある太平洋国立大学の教員・日本語を学習中の学生と、南山大生との交流会が行われました。同大学の紹介やマトリョーシカの由来についての説明、ロシア語の方言に関するスピーチなどをロシア人学生が流暢な日本語で行いました。交流会の最後には、日本人学生とロシア人学生と一緒にマトリョーシカの絵付けをして、ユニークな出来栄に参加者同士でとても盛り上がりました。



2017年度決算・2018年度予算について

2017年度はキャンパス統合、新学部(国際教養学部)の設立、クォーター制導入等々、本学にとってまさに変革の年でありましたが、構内の環境整備に目を向けますと、次期将来構想(2013年9月に発表)の実現に向けた第Ⅱ期工事が2016年度までに完了し、2017年度からは既存校舎の改修工事を中心とした5か年計画「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」がスタートしております。このプロジェクトは、本学キャンパスの設計者であるアントニン・レーモンド氏の「自然を基本として」という設計思想に基づき、歴史あるレーモンド建築を次の世代に継承しつつ、学生生活環境や学習環境の充実も実現させていくものです。

本学では、「NANZAN BULLETIN」「南山大学概要」「南山大学公式Webページ」において財政状況を公開し、透明性確保に努めています。今回は、2017年度決算および2018年度予算について、財務諸表をもとに説明させていただきます。

2017年度決算について

第1表は資金収支計算書であり、本学における1年間の活動に伴う収入と支出の資金の記録です。(以下、予算額は補正予算額を指します)

収入の部では、学生生徒等納付金収入が予算額に対して2百万円減少しました。補助金収入は、予算額に対して36百万円減少しました。寄付金収入が予算額に対して104百万円増加しているのは、2017年度まで募集していた将来構想募金において、同窓会より100百万円の寄付を受けたことが主な要因です。

支出の部では、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出とも、予算額内で執行しました。レーモンド・リノベーション・プロジェクトの改修費用は、教育研究経費支出、施設関係支出、設備関係支出等に計上されています。

なお、例年南山学園の設立母体である神言修道会から、本学に勤務する神言修道会会員の人件費節約額として本学への財政支援がなされています。2017年度は総額15百万円の援助があり、パッセ研究奨励金の原資として充当しました。

第2表の活動区分資金収支計算書は、教育、施設整備等、その他の3つの活動区分毎に資金収支を見ることができるようにした計算書です。教育活

第1表 2017年度 資金収支計算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部			
科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	10,401,306	10,399,509	1,797
手数料収入	778,285	777,794	491
寄付金収入	208,075	311,930	△ 103,855
補助金収入	1,069,841	1,033,922	35,919
資産売却収入	3,146	3,131	15
付随事業・収益事業収入	201,164	195,692	5,472
受取利息・配当金収入	56,874	68,879	△ 12,005
雑収入	277,379	285,201	△ 7,822
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,233,662	2,155,593	78,069
その他の収入	2,265,454	2,595,089	△ 329,635
資金収入調整勘定	△ 2,552,077	△ 2,593,998	41,921
当期収入合計	14,943,109	15,232,742	△ 289,633
前年度繰越支払資金	33,123,361	33,123,361	0
収入の部合計	48,066,470	48,356,103	△ 289,633
支出の部			
科 目	予算額	決算額	差異
人件費支出	6,903,162	6,805,148	98,014
退職金支出	295,654	286,563	9,091
教育研究経費支出	3,151,991	2,945,547	206,444
管理経費支出	833,263	767,514	65,749
借入金等利息支出	64,009	64,006	3
借入金等返済支出	304,440	304,440	0
施設関係支出	592,267	582,937	9,330
設備関係支出	331,947	322,196	9,751
資産運用支出	10,000	113,088	△ 103,088
その他の支出	2,187,569	2,366,634	△ 179,065
予備費	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 288,974	△ 304,567	15,593
法人本部費配賦額	368,011	366,597	1,414
当期支出合計	14,457,685	14,333,540	124,145
翌年度繰越支払資金	33,608,785	34,022,563	△ 413,778
支出の部合計	48,066,470	48,356,103	△ 289,633

(注) 予算額は補正予算額

第2表 2017年度 活動区分資金収支計算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	10,401,306	10,399,509	1,797
手数料収入	778,285	777,794	491
特別寄付金収入	198,995	303,625	△ 104,630
一般寄付金収入	9,080	8,305	775
経常費等補助金収入	1,041,588	1,005,669	35,919
付随事業収入	201,164	195,692	5,472
雑収入	276,441	283,693	△ 7,252
教育活動資金収入計	12,906,859	12,974,287	△ 67,428
人件費支出	6,903,162	6,805,148	98,014
教育研究経費支出	3,151,991	2,945,547	206,444
管理経費支出	832,621	766,872	65,749
教育活動資金支出計	10,887,774	10,517,567	370,207
差引	2,019,085	2,456,720	△ 437,635
調整勘定等	77,359	△ 33,349	110,708
教育活動資金収支差額	2,096,444	2,423,371	△ 326,927
施設設備補助金収入	28,253	28,253	0
施設設備売却収入	3,116	3,117	△ 1
第2号基本金引当特定資産取崩収入	0	0	0
施設整備等活動資金収入計	31,369	31,370	△ 1
施設関係支出	592,267	582,937	9,330
設備関係支出	331,947	322,196	9,751
第2号基本金引当特定資産繰入支出	0	0	0
南山大学将来構想募金引当特定資産繰入支出	10,000	113,088	△ 103,088
施設整備等活動資金支出計	934,214	1,018,221	△ 84,007
差引	△ 902,845	△ 986,851	84,006
調整勘定等	14,676	28,456	△ 13,780
施設整備等活動資金収支差額	△ 888,169	△ 958,395	70,226
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,208,275	1,464,976	△ 256,701
借入金等収入	0	0	0
長期貸付金回収収入	20,437	27,146	△ 6,709
短期貸付金回収収入	250	0	250
預り金受入収入	1,808,462	2,133,216	△ 324,754
貯蔵品売却収入	30	14	16
その他の収入	36,025	34,347	1,678
小計	1,865,204	2,194,723	△ 329,519
受取利息・配当金収入	56,874	68,879	△ 12,005
過年度修正収入	938	1,507	△ 569
その他の活動資金収入計	1,923,016	2,265,109	△ 342,093
借入金等返済支出	304,440	304,440	0
長期貸付金支払支出	31,418	22,882	8,536
短期貸付金支払支出	3,250	0	3,250
預り金支払支出	1,850,337	2,049,471	△ 199,134
その他の支出	23,760	22,846	914
小計	2,213,205	2,399,639	△ 186,434
借入金等利息支出	64,009	64,006	3
過年度修正支出	642	641	1
その他の活動資金支出計	2,277,856	2,464,286	△ 186,430
差引	△ 354,840	△ 199,177	△ 155,663
調整勘定等	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 354,840	△ 199,177	△ 155,663
予備費	0	0	0
法人本部費配賦額	368,011	366,597	1,414
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	485,424	899,202	△ 413,778
前年度繰越支払資金	33,123,361	33,123,361	0
翌年度繰越支払資金	33,608,785	34,022,563	△ 413,778

(注) 予算額は補正予算額

動資金収支は、学生生徒等納付金、補助金、寄付金などの収入と人件費、教育研究経費などの支出といった、本来の学校教育活動に係る収入・支出です。第2表を見ていただくと、教育活動収支は2,423百万円の収入超過となっています。施設整備等活動資金収支はレーモンド・リノベーション・プロジェクトの支払があるため958百万円の支出超過であり、その他の活動資金収支は199百万円の支出超過となっており、法人本部費配賦額367百万円の支出を加え、南山大学全体では899百万円の資金増加となっています。

第1表の資金収支計算書が、本学の資金にかかる収入および支出の顛末を表しているのに対し、第3表の事業活動収支計算書では、本学の経営状態が健全かどうかを見るための収支状況を表しています。第3表は第2表同様に3つの活動区分に分かれており、それぞれの区分毎の収支状況を見ることができます。この3つの活動区分のうち、特別収支を除く、教育活動収支と教育活動外収支

第3表 2017年度 事業活動収支計算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで) (単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金	10,401,306	10,399,509	1,797
手数料	778,285	777,794	491
寄付金	211,575	321,838	△ 110,263
経常費等補助金	1,041,588	1,005,669	35,919
付随事業収入	201,164	195,692	5,472
雑収入	294,745	298,082	△ 3,337
教育活動収入計	12,928,663	12,998,584	△ 69,921
人件費	6,828,883	6,686,033	142,850
(退職給与引当金繰入額)	(221,375)	(167,448)	(53,927)
教育研究経費	4,454,886	4,247,684	207,202
(減価償却額)	(1,299,395)	(1,296,953)	(2,442)
管理経費	968,348	904,146	64,202
(減価償却額)	(135,727)	(137,419)	(△ 1,692)
徴収不能額等	0	847	△ 847
教育活動支出計	12,252,117	11,838,710	413,407
教育活動収支差額	676,546	1,159,874	△ 483,328
受取利息・配当金	56,874	68,879	△ 12,005
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	56,874	68,879	△ 12,005
借入金等利息	64,009	64,006	3
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	64,009	64,006	3
教育活動外収支差額	△ 7,135	4,873	△ 12,008
経常収支差額	669,411	1,164,747	△ 495,336
資産売却差額	3,117	3,117	0
その他の特別収入	114,341	118,953	△ 4,612
(現物寄付)	(85,150)	(89,192)	(△ 4,042)
(施設設備補助金)	(28,253)	(28,253)	(0)
(過年度修正額)	(938)	(1,508)	(△ 570)
特別収入計	117,458	122,070	△ 4,612
資産処分差額	65,500	64,421	1,079
その他の特別支出	643	641	2
特別支出計	66,143	65,062	1,081
特別収支差額	51,315	57,008	△ 5,693
予備費	0	0	0
法人本部費配賦額	349,973	348,559	1,414
基本金組入前当年度収支差額	370,753	873,196	△ 502,443
基本金組入額合計	△ 966,429	△ 865,721	△ 100,708
当年度収支差額	△ 595,676	7,475	△ 603,151
前年度繰越収支差額	2,722,685	2,722,685	0
基本金取崩額	407,839	407,839	0
翌年度繰越収支差額	2,534,848	3,137,999	△ 603,151

(参考)

事業活動収入計	13,102,995	13,189,533	△ 86,538
事業活動支出計 ^(※)	12,732,242	12,316,337	415,905
経常収入	12,985,537	13,067,463	△ 81,926
経常支出	12,316,126	11,902,716	413,410

(※) 法人本部費配賦額を含む。

(注) 予算額は補正予算額

の合計である経常収支により、学校の経営状況を見ることができます。本学の経常収支差額は1,165百万円、当年度収支差額は7百万円、それぞれ収入超過となりました。

第4表の貸借対照表は、2018年3月31日現在における資産、負債、純資産(基本金+繰越収支差額)の状態を表しています。資産の部では、有形固定資産は6,338百万円増加となりましたが、この大半は2017年度期首において、過去の本学校地等取得に際し法人部門が負担していた額を、大学が一括で償還したことによるものであります。他方、負債の部は借入金返済や前受金減少などにより、合計で342百万円減少しました。また、純資産の部では、先述した校地等法人部門負担分の一括償還等により基本金は6,954百万円増加、翌年度繰越収支差額は3,097百万円の減少となりました。

第4表 貸借対照表

(2018年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部			
科 目	2017年度末	2016年度末	増減
固定資産	43,539,947	37,183,121	6,356,826
有形固定資産	42,811,730	36,473,492	6,338,238
土地	10,428,014	4,140,595	6,287,419
建物	24,346,559	24,409,951	△ 63,392
構築物	1,244,174	1,310,881	△ 66,707
教育研究用機器備品	776,522	666,623	109,899
管理用機器備品	18,809	8,608	10,201
図書	5,926,397	5,933,834	△ 7,437
車輛	0	1	△ 1
建設仮勘定	71,255	2,999	68,256
特定資産	334,960	221,872	113,088
第2号基本金引当特定資産	0	0	0
退職給与引当特定資産	140,000	140,000	0
南山大学名古屋C棟施設備品引当特定資産	50,000	50,000	0
南山大学将来構想募金引当特定資産	144,960	31,872	113,088
その他の固定資産	393,257	487,757	△ 94,500
電話加入権	6,301	6,301	0
施設利用権	4,339	4,539	△ 200
長期貸付金	69,013	73,889	△ 4,876
差入保証金	0	7,540	△ 7,540
ソフトウェア	313,604	395,488	△ 81,884
流動資産	34,366,754	37,208,576	△ 2,841,822
現金預金	34,022,563	36,742,193	△ 2,719,630
未収入金	264,837	403,280	△ 138,443
貯蔵品	7,028	2,172	4,856
立替金	1,719	5,479	△ 3,760
前払金	70,607	55,452	15,155
資産の部合計	77,906,701	74,391,697	3,515,004

負債の部

科 目	2017年度末	2016年度末	増減
固定負債	9,713,287	10,390,953	△ 677,666
長期借入金	7,272,430	7,785,240	△ 512,810
長期未払金	104,125	137,978	△ 33,853
退職給与引当金	2,083,609	2,217,112	△ 133,503
長期預り金	253,123	250,623	2,500
流動負債	3,473,279	3,137,137	336,142
短期借入金	512,810	304,440	208,370
未払金	283,301	201,162	82,139
前受金	2,155,593	2,191,206	△ 35,613
預り金	521,575	440,329	81,246
負債の部合計	13,186,566	13,528,090	△ 341,524

純資産の部

科 目	2017年度末	2016年度末	増減
基本金	61,582,136	54,628,139	6,953,997
第1号基本金	56,165,428	48,818,143	7,347,285
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	4,589,008	4,986,596	△ 397,588
第4号基本金	827,700	823,400	4,300
繰越収支差額	3,137,999	6,235,468	△ 3,097,469
翌年度繰越収支差額	3,137,999	6,235,468	△ 3,097,469
純資産の部合計	64,720,135	60,863,607	3,856,528
負債及び純資産の部合計	77,906,701	74,391,697	3,515,004

2018年度予算について

本学における収入構造を財務比率から見ると、2017年度決算では学生生徒等納付金比率79.6%、補助金比率7.8%となっており、この2つの金額が収入の大部分を占めています。この収入構造は2018年度予算においても同様で、今後も学生数確保、および補助金・寄付金などの外部資金獲得に向けさらなる努力を続けていく所存です。

2017年度から開始のレーモンド・リノベーション・プロジェクトは、2017年度にH棟、G30棟、体育館などの改修を終えました。2018年度はF棟、G棟、J棟、K棟、M棟の一部が改築され、教室やセミナー室などが整備されます。また、グラウン

ドの人工芝整備、クラブハウスの改修が行われ、体育・クラブ活動でのさらなる利用が見込まれます。加えて、全学部の学生を対象にセミナー室やロッカーの整備も今後進めていく予定です。

なお、レーモンド・リノベーション・プロジェクトの推進にあたり、2022年3月までの期限とした「レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」を開始いたしました。募金で集まった資金は、上述の整備内容をはじめとした、キャンパスアメニティの改善、学生生活環境・学習環境の充実に活用させていただく予定です。

2018年度学長方針として掲げている「戦略的な国際化推進」について、国際的な大学間連携のさらなる推進として、現在積極的に交流協定校の開拓に努めています。2018年8月末現在交渉中の協定がすべて締結されると110大学(33か国・

地域)となり、将来的な目標である約130大学との協定締結に近づくことになります。

学生の短期留学では、2017年度にはすべての学部で短期留学制度を整備し、長期・短期あわせて約600名の学生が海外へ留学するまでになりました。これに加えて2018年度には、国際教養学部の2年生がアリゾナ州立大学での短期留学に参加しました。今後も、多くの学生が海外へ行き、異文化理解や見聞を深め、教育・研究の場を広げられるようにするため、各学部・研究科のプログラムのさらなる充実を図ります。

また連携の内容について、学生交流だけでなく、教職員の相互交流や、海外教員が引率する形での短期留学生(ファカルティレッドタイプ)の受入れなど、交流内容の多様化の推進が必要となります。その際、オンライン国際交流学習を実現するために、情報通信技術(ICT)を活用した教育環境が不可欠であ

り、今後引き続き整備を進めたいと考えます。

このほか、2017年度には中国の北京と上海に、本学のオフィスを開設しました。本学の教育・研究を向上させるために、海外の拠点を有効に活用するにはどうしたらよいかを考えると同時に、新たな拠点の設立について検討を行います。

なお、掲載しております財務諸表につきまして、2018年度予算は3月に決定されている関係で、前年度繰越収支差額および前年度繰越支払資金が2017年度決算からの繰越額と一致していないことを申し添えさせていただきます。

本学では、私立大学としての公共性と説明責任を認識し、従来から財務改善に努めるとともに、財務状況を広く公表しており、引き続きこの方針を維持していく所存です。今後ともご理解、ご支援をお願いいたします。

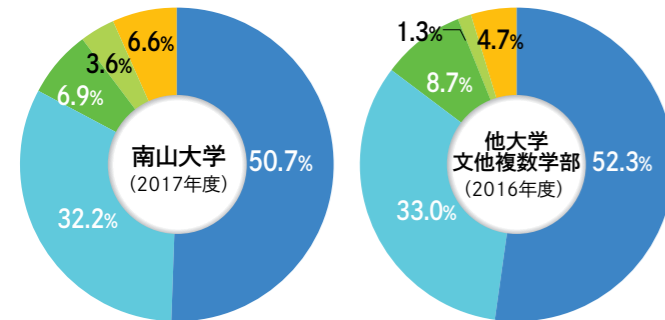
(大学事務部長 福田 尚登)

第5表 財務比率
事業活動収支計算書関連

比率	計算式	南山大学			他大学 2016年度 (新基準)	評価
		2015年度	2016年度	2017年度		
人件費比率	人件費/経常収入	50.3%	52.4%	51.2%	52.8%	↓
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	63.4%	65.9%	64.3%	63.3%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	27.9%	28.2%	32.5%	33.3%	↑
管理経費比率	管理経費/経常収入	7.4%	7.6%	6.9%	8.8%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息/経常収入	0.5%	0.5%	0.5%	0.1%	↓
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	79.4%	79.5%	79.6%	83.5%	↑
補助金比率	補助金/事業活動収入	8.6%	8.0%	7.8%	7.3%	↑
基本金組入率	基本金組入額/事業活動収入	7.9%	1.0%	6.6%	8.9%	↑
減価償却額比率	減価償却額/経常支出	10.5%	10.1%	12.1%	12.0%	～

事業活動収入に対する比率

比率	南山大学 (2017年度)	他大学文他複数学部 (2016年度)
人件費	50.7%	52.3%
教育研究経費	32.2%	33.0%
管理経費	6.9%	8.7%
その他の事業活動支出額	3.6%	1.3%
基本金組入額+当年度収支差額	6.6%	4.7%



貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学 2016年度	評価
		2016年度	2017年度		
純資産構成比率	純資産/(総負債+純資産)	81.8%	83.1%	88.2%	↑
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額/(総負債+純資産)	8.4%	4.0%	△15.3%	↑
流動比率 ^(※1)	流動資産/流動負債	1027.1%	857.3%	265.7%	↑
減価償却比率 ^(※2)	減価償却累計額/減価償却資産取得価額	42.9%	44.0%	51.1%	～
総負債比率	総負債/総資産	18.2%	16.9%	11.8%	↓
負債比率	総負債/純資産	22.2%	20.4%	13.3%	↓

(注) 他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団平成29年度版「今日の私学財政」より、事業活動収支計算書関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人全体の平均をそれぞれ掲載した。評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

純資産(従来の自己資金)=基本金+繰越収支差額

総負債=固定負債+流動負債

※1 南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

※2 分子・分母とも図書を除く。

第6表 2018年度 資金収支予算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	
科目	予算額
学生生徒等納付金収入	10,389,234
手数料収入	777,248
寄付金収入	191,021
補助金収入	1,071,407
資産売却収入	30
付随事業・収益事業収入	212,166
受取利息・配当金収入	49,360
雑収入	277,786
借入金等収入	0
前受金収入	2,233,662
その他の収入	2,139,804
資金収入調整勘定	△ 2,502,874
当期収入合計	14,838,844
前年度繰越支払資金	33,608,785
収入の部合計	48,447,629

支出の部	
科目	予算額
人件費支出	7,012,207
退職金支出	355,584
教育研究経費支出	3,979,646
管理経費支出	752,063
借入金等利息支出	59,114
借入金等返済支出	512,810
施設関係支出	1,096,391
設備関係支出	482,461
資産運用支出	900,000
その他の支出	2,332,682
予備費	26,157
資金支出調整勘定	△ 1,629,312
法人本部費配賦額	364,107
当期支出合計	15,888,326
翌年度繰越支払資金	32,559,303
支出の部合計	48,447,629

第7表 2018年度 活動区分資金収支予算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで) (単位:千円)

科目		予算額
教育活動資金収支	学生生徒等納付金収入	10,389,234
	手数料収入	777,248
	特別寄付金収入	182,021
	一般寄付金収入	9,000
	経常費等補助金収入	1,045,316
	付随事業収入	212,166
	雑収入	277,374
	教育活動資金収入計	12,892,359
	人件費支出	7,012,207
	教育研究経費支出	3,979,646
管理経費支出	752,063	
教育活動資金支出計	11,743,916	
差引	1,148,443	
調整勘定等	607,756	
教育活動資金収支差額	1,756,199	
施設整備等活動資金収支	施設設備補助金収入	26,091
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	0
	南山大学名古屋C施設設備拡充引当特定資産取崩収入	50,000
	施設整備等活動資金収入計	76,091
	施設関係支出	1,096,391
	設備関係支出	482,461
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
	南山大学名古屋C施設設備拡充引当特定資産繰入支出	400,000
	施設整備等活動資金支出計	1,978,852
	差引	△ 1,902,761
調整勘定等	663,361	
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,239,400	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	516,799	
その他の活動資金収支	借入金等収入	0
	長期貸付金回収収入	43,046
	短期貸付金回収収入	250
	預り金受入収入	1,808,530
	貯蔵品売却収入	30
	その他の収入	17,305
	小計	1,869,161
	受取利息・配当金収入	49,360
	過年度修正収入	412
	その他の活動資金収入計	1,918,933
借入金等返済支出	512,810	
南山大学短期留学奨学金引当特定資産繰入支出	500,000	
長期貸付金支払支出	145,660	
短期貸付金支払支出	3,250	
預り金支払支出	1,856,751	
その他の支出	17,365	
小計	3,035,836	
借入金等利息支出	59,114	
その他の活動資金支出計	3,094,950	
差引	△ 1,176,017	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	△ 1,176,017	
予備費	26,157	
法人本部費配賦額	364,107	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	△ 1,049,482	
前年度繰越支払資金	33,608,785	
翌年度繰越支払資金	32,559,303	

第8表 2018年度 事業活動収支予算書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで) (単位:千円)

科目		予算額
教育活動収支	学生生徒等納付金	10,389,234
	手数料	777,248
	寄付金	194,521
	経常費等補助金	1,045,316
	付随事業収入	212,166
	雑収入	379,500
	教育活動収入計	12,997,985
	人件費	7,061,539
	(退職給与引当金繰入額)	(404,916)
	教育研究経費	5,178,715
(減価償却額)	(1,195,569)	
管理経費	867,165	
(減価償却額)	(115,102)	
徴収不能額等	0	
教育活動支出計	13,107,419	
教育活動収支差額	△ 109,434	
教育活動外収支	事業活動収入	49,360
	受取利息・配当金	49,360
	その他の教育活動外収入	0
	教育活動外収入計	49,360
	事業活動支出	59,114
	借入金等利息	59,114
	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外支出計	59,114
	教育活動外収支差額	△ 9,754
	経常収支差額	△ 119,188
特別収支	事業活動収入	0
	資産売却差額	0
	その他の特別収入	31,653
	(現物寄付)	(5,150)
	(施設設備補助金)	(26,091)
	(過年度修正額)	(412)
	特別収入計	31,653
	事業活動支出	88,101
	資産処分差額	88,101
	その他の特別支出	0
特別支出計	88,101	
特別収支差額	△ 56,448	
予備費	26,157	
法人本部費配賦額	346,069	
基本金組入前当年度収支差額	△ 547,862	
基本金組入額合計	△ 611,831	
当年度収支差額	△ 1,159,693	
前年度繰越収支差額	2,534,848	
基本金取崩額	0	
翌年度繰越収支差額	1,375,155	

(参考)

事業活動収入計	13,078,998
事業活動支出計(※)	13,626,860

経常収入	13,047,345
経常支出	13,166,533

(※) 法人本部費配賦額を含む。

私の研究



寶多 康弘 (たからだ やすひろ)
経済学部 経済学科 教授

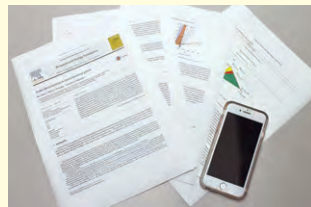
専攻分野は、国際経済学、環境・自然資源経済学。
研究テーマは、地域貿易協定と基準、貿易と環境・再生可能資源。
主な担当科目は、経済演習、ミクロ経済学、外書講読(国際)、経済学。

地域貿易協定と国内政策

最近、国際貿易にまつわる話題が大きく報道されています。各国の経済は国際貿易や直接投資を通じて密接に関連しており、政策変更の影響が広範囲に及ぶことを物語っています。グローバルサプライチェーンと呼ばれるように、ある製品の生産には多くの国で生産された様々な原材料や部品が用いられ、最終製品の生産者が全体像を把握できないほどです。この背景には、関税・投資障壁の低減・撤廃、情報通信技術の発達などによって、生産工程の分割や外部委託が容易になったことがあげられます。典型例はスマートフォンの生産です。この仕組みがうまく機能しているからこそ、我々は良いものを手頃な価格で購入できます。

私は国際貿易による利益と貿易・国内政策に関して、数理モデルを用いた理論的研究をしています。近年の研究テーマの一つとして、自由貿易協定や関税同盟といった地域貿易協定の締結が、各国および世界経済に与える影響についての分析

があります。WTO(世界貿易機関)のルールの下では、国内政策は内国民待遇の原則に従うので、国内産品と輸入品を同等に扱います。しかし、外国企業にとって対応が難しい国内政策は、貿易制限的な効果を生む場合があります。国内政策は、各国がそれぞれ独自の政策目的を持つなかで実行されるので、国際的に異なることが多々あります。国内政策として、貿易に直接影響を与える基準認証制度(健康・安全・環境基準など)の役割に焦点を当てています。地域貿易協定の締結時に関税低減と基準調和が同時に実行される場合、関税低減と基準調和は、利害調整が容易な特定の協定国内だけで終わってしまうのか、それとも多国間での合意に結びついて世界的に貿易が活発になるのかについて研究を進め、保護主義的な行動や貿易自由化の要因を探っています。



執筆した論文と、本記事で典型例として挙げているスマートフォン

私のクラス



吉澤 英樹 (よしざわ ひでき)
外国語学部 フランス学科 教授

専攻分野は、20世紀フランス語圏文学・文化。
最近の研究テーマは、戦間期モダニズム芸術における保守的文化相対主義の解明。
主な担当科目は、フランスの文化、フランス語圏研究、フランス文学史。

自明だと思っていた文化概念を問い直す

皆さんは「フランスの文化」と聞いて何を連想するでしょうか。印象派絵画、マリー・アントワネット、カンヌ国際映画祭、ノートルダム寺院、エッフェル塔…フランスは何世紀もの間ヨーロッパ文化の一つの中心地として歴史を刻み、また国をあげての文化政策によって、世界有数の観光国としての地位を保ち続けています。

しかしながら、驚くことにフランスは「文化」を指し示すものとしてcultureという語を使用してきませんでした。そのかわりに使われていたのは「文明」civilisationという言葉です。18世紀の啓蒙思想が生んだこの語は、世界を照らす理性の光の源

として、「世界の文化的な中心地フランス」という自意識を生み、アンシャンレジーム期の文化を盛り立てる反面、フランス革命を呼びこむこととなり、さらに共和政期は植民地支配を正当化する論理としても使用されることになりました。

実は私たちがフランス文化と考える半分くらいのもので、革命後にフランスが相対化されていく時代の中で、自国のcivilisationと他国のculturesとのせめぎ合いを通して、文化概念を絶え間なく拡張させながら一つのアイデンティティを模索してきた結果、生まれてきたものなのです。講義では、フランスにおけるさまざまな文化現象の背後にある時代ごとの文脈を解きほぐすことによって、変容する「文化」という概念のあり方を見据え、自身も未来の文化を担う一員であるという意識を受講者各自がもてるように工夫することを心掛けています。



「フランスの文化」の授業風景



キャリア支援室プログラム紹介

ランチタイムにキャリアサポートプログラムを実施します!

キャリア支援室主催のプログラムは、授業が少ない水曜日の午後や平日の5限以降に実施することが多いですが、部活動やサークル活動等で中々参加できない学生の皆さんにも参加しやすくするために、新たにランチタイムに実施することになりました。お昼ご飯を食べながらの参加も可能です。授業の合間を活用し、ご自身のキャリアについて考えてみましょう。

〈実施予定のプログラム〉

インターンシッププログラム(秋冬インターンシップ講座)

・日時: 2018年10月4日(木) 12:45~13:15

・対象: インターンシップ初心者

・内容: 年々重要度が高まっている

秋・冬開催のインターン

シップについて、夏期開

催との違いや注意点、参

加に向けての心構え、企

業・機関の選び方などを、

座談会形式でレクチャー

します。



昨年度のインターンシッププログラムの様子

学生生活デザイン・セミナー

・日時: 2018年10月24日(水) 12:45~13:45

・対象: 2年次生推奨

・内容: 自分自身の現状を理解し、これからの学生生活で何ができるか考えるためのプログラムです。自分自身の課題や目標を考える材料として適性テストを受検し、結果を参考にしながら今後に向けた目標設定を行います。

※プログラムの申込み方法等詳細は今後PORTAで公開予定です。

学生の皆さんは、ぜひ参加してください。

秋学期のキャリア支援室プログラム紹介

低年次から万全の体制でキャリア形成をサポートしています。学生の皆さんは、ぜひ参加してください。

キャリアサポートプログラム(全学年対象)

10月	テーマ別ワークショップ 「女性の働き方」「営業職の仕事」など	ワークを通じて、テーマ毎に必要な能力・資質とは何かを考えます。
11月~1月	業界・職種研究会【文理別】	各業界を代表する企業から講師をお招きし、各業界の現状や今後の方向性等についてお話を伺います。

就職支援プログラム(2020年3月卒業予定者対象)

9月	第2回就職ガイダンス【文理別】	これまでの振り返り、秋学期のスケジュールの確認など
10月~1月	就職講座【文理別】 「筆記試験対策」「自己理解」「業界研究」「面接対策」など	テーマ毎に就職活動に役立つ講座を実施します。
10月・11月	筆記試験対策	SPI模試、SPIフォローアップ講座
12月	グループ選考対策	他大学交流型グループディスカッション対策講座
1月	第3回就職ガイダンス【文理別】	就職活動直前総まとめ講座
2月	エントリーシート・面接対策	ES・面接準備ワークショップ
3月	学内会社説明会 [2017年度実績: 文系 351社 / 理系 88社]	学内で南山大生を対象とした会社説明会を開催。優良企業が多数参加します。

※その他、Uターンガイダンスや外国人留学生ガイダンス、障がいのある学生のためのガイダンスを実施します。
※就職相談は随時受け付けています。

■ 経営学部 安藤史江教授が、第69回全国能率大会において「経済産業省 経済産業政策局長賞」を受賞

経営学部経営学科の安藤史江教授が、公益社団法人全日本能率連盟(以下、「全能連」)が開催する第69回全国能率大会において、「ケア責任を負った女性の就業継続・育成のための組織変革マネジメント」という論文で「経済産業省 経済産業政策局長賞」を受賞しました。

全国能率大会は、全能連が創立された1949年から毎年開催されてきた最も歴史のある全能連の中核的事業です。当初は、能率思想の普及を図り、これを実現することを目的として、能率運動の全国展開を図るために企画され、毎年1回全国各地で開催されていました。2014年の第66回大会より「経営・技術大会」と「優秀論文発表会」の2部構成となり、「経営の科学化」推進を図っています。

安藤教授からは、受賞にあたり「日頃から『実践と理論の架け橋』を意識した研究を進めております。今回の研究テーマは、主に育児期の女性が自然体で自分の能力を発揮できる職場・組織の在り方でした。調査を通じて、多くの貴重な生の声をお寄せいただき、その声を広く届けたいとの思いから、こうした実践論文の応募に踏み切りましたが、高い評価をいただき大変光栄に思います。調査にご協力いただいたすべての方々、研究助成機関、そして、日頃の研究活動を支えてくださる大学関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。」とお話いただきました。



■ トルコの大学とのSD(スタッフ・ディベロップメント)研修

2018年3月に本学の新たな協定校となったトルコにあるイスタンブール・セヒール大学との間で、初めてSD研修を行いました。

同大学とは、EU加盟国間の交流協力プログラムであるエラスムスプラス奨学金により、学生および教職員の交流を行うことに合意しており、今回はその一環として事務職員同士の相互派遣を実施しました。

本学からは、教務課の渡邊沙織主事がこの研修に参加し、2018年6月25日から29日までの5日間、イスタンブール・セヒール大学で1日2部署との意見交換会を行い、各部署の実務内容や国際化に対する取り組みについて学びました。中には本学での取り組みの参考にできる制度も多くあり、本学の活性化につなげられる有意義な研修となりました。渡邊主事は、「初めての試みということで困難な点もありましたが、やりがいのある貴重な経験となりました。新たな協定校であるため学生の派遣・受入の実績はまだありませんが、今回の研修をもとに今後活発な交流が行われることを望みます。」と感想を述べました。

また、イスタンブール・セヒール大学からはInternational Relations OfficeのOkan Mergen氏が2018年7月11日から13日までの3日間本学を来訪し、本学国際センター事務室で国際教育交流業務に関する研修を受けました。最終日にはOkan氏によるSD講演会が行われました。「Regarding the latest international trends in Higher Education in Turkey, such as government policies and Turkish Universities' internationalization at home」をテーマにした講演を本学事務職員10名が受講し、日本とトルコの大学の国際化について意見交換を行いました。



渡邊主事(中央)とCareer Center スタッフ

活躍する南山大生

バドミントン部 女子ダブルス 第66回東海学生バドミントン選手権大会 第3位 第66回愛知県学生バドミントン選手権大会 優勝

経営学部経営学科3年の水野裕加さんと、総合政策学部総合政策学科3年の中林彩衣さんペアが、第66回東海学生バドミントン選手権大会女子ダブルスで第3位に入賞しました。東海3県の各大学から多くの選手が出場するレベルの高い大会で、大健闘をみせました。

また、同上の水野裕加さんと、経済学部経済学科1年の岡村あみさんペアが、第66回愛知県学生バドミントン選手権大会女子ダブルスで優勝しました。ダブルスは長年ペアを組んでいないと連携がうまくいかず難しいところがありますが、入部して間もない1年の岡村さんと3年の水野さんというペアで素晴らしい功績を残しました。



(左から)岡村さん、水野さん、中林さん

ハンドボール部男子 1部リーグ昇格 ～2018年秋シーズンは男女とも1部リーグでプレー～

2018年6月2日、至学館大学で東海学生ハンドボール春季入替戦が行われ、ハンドボール部男子が、1部リーグ昇格を決めました。さらに、経済学部経済学科2年の藤田瑞起さんが優秀選手賞を受賞しました。

2部リーグ優勝者として挑んだ1部リーグ10位の大学との入替戦には、OBの皆さまや選手のご家族の皆さまも応援に駆けつけてくださいました。

対戦校との攻守で、終始、拮抗していましたが、今季で最も良いチームプレーができました。レギュラーメンバー2名を怪我で欠くなど、チームの状況はベストではありませんでしたが、前半を15-16で1点リードされた状況を覆し、チーム全員の力で、試合終了時には27-25で勝利しました。

2006年以降の1部への復活、ハンドボール部男子・女子ともに1部でプレーするのは十数年ぶりの快挙です。



Special Events

2018.6.6

「南山チャレンジプロジェクト」採択式

6月6日に、2018年度「南山チャレンジプロジェクト」のプロジェクト採択式を行いました。

「南山チャレンジプロジェクト」は、学生が主体となり、学内の活性化や大学での学びを生かした取組み、地域との交流、国際交流などを推進する新たな課外活動を大学として支援し、学生の成長につながる機会を作り出すことを目的として2017年度からスタートしました。

4つの募集テーマ(①南山大学を活性化させる活動、②学びを深める活動、③地域交流活動、④国際交流活動)に合致した学生企画の課外活動を募集し、選考の結果、下記7件を採択しました。

採択式では、岡田学生部長より採択グループ代表者に採択通知書が授



プロジェクト採択式の様子

与され、各グループの代表者が取組みへの意気込みを語りました。

【採択された取組み名称【グループ名】および内容】

●道行く人に一輪の花を渡す、アートプロジェクト『Episode of NANZAN』[Spreading love]

メッセージカードと共に、道行く人に一輪の花を配ります。花を渡された人は、その人が選ぶ次の「誰か」に花を渡してもらいます。花を次々とリレーすることで、人と人とのつながりを作るきっかけを生み出します。この活動を通して、学生同士の新たなつながりや、積極的に地域交流活動を実現します。

●南山大学の女子学生をエンパワーする冊子製作・販売 [AskHer]

様々なフィールドで活躍する女性の卒業生や在学学生などにインタビューを行います。インタビュー内容は冊子にまとめて制作・販売し、女子学生のエンパワーメント推進を目指します。冊子の売り上げ金は、アフリカ(トーゴ)の女性の経済的自立を促進する団体へ寄付します。

●Humans of Nanzan [posies]

夢や目標を持って生きる学生や団体に、写真撮影とインタビューを行います。価値観や考え方、それに基いた行動についてまとめ、InstagramやFacebookで発

信します。記事を読んだ南山大学生に、人生の可能性を広げるきっかけを与えることを目標としています。

●Kizuna Talk ~Japan×Cambodia~ [Kizuna Talk]

異文化理解のため、カンボジアの大学生と南山大学生がSkypeを通して日本語で交流します。また団体名の「Kizuna」とは「絆」のことで、日本とカンボジアの絆を深めることも目標としています。

●日本人学生と留学生の交流を深めるスポーツフェスティバル等の実施を通じた国際交流 [NICX]

日本人学生と留学生の絆に促れられ、多くの学生が参加できるスポーツフェスティバルやハロウィンイベントを企画・実施し、国際交流の定着化を図ります。

●原駅前商店街海外インターン生協働プロジェクト [アイセック×南川ゼミ]

名古屋市原駅前商店街で外国人インターンシップ生の受け入れを行い、経営学部の南川ゼミ生と一緒にイベントを企画・実施します。これにより、駅前商店街の活性化を図ります。

●世界料理総選挙～食で世界をつなぐ～ [ITB]

大学祭に出席する模擬店で、留学生と日本人学生が共同で世界各国の料理を調理・販売します。販売した料理は、来場者による人気投票を行います。この企画を通して、異文化理解の促進や留学生との交流を深めます。

2018.7.14-2018.7.16, 2018.8.4

小・中学生向け講座 「大学で、未来の自分を探してみよう!」

南山大学の知的財産を地域に還元することを目的として、小学生(4~6年生)・中学生を対象とした9講座を開講しました。いずれの講座も大学の教室や施設を利用し、教員や学生と一緒に学ぶ体験型の講座です。

「いろいろな国の留学生と楽しく交流しよう!」の講座では、受講生がアジアを中心とした7つの国・地域の留学生と交流して異文化を体験しました。その国・地域の言語で自分の名前を書いたり、その国の代表的な遊びに挑戦したりしました。

「いろいろな国の留学生と楽しく交流しよう!」の様子



2018.7.21-2018.7.22

オープンキャンパス

7月21日、22日に、2018年度オープンキャンパスを開催しました。

全学部の学科説明会をはじめ、在学生によるキャンパスツアー、相談コーナー、クラブ活動紹介などさまざまな企画を実施しました。

各学部の教員による模擬授業や、実際にその学科に所属する学生がそれぞれ学んでいることについて説明するコーナーもあり、来場者は興味深そうに聞き入っていました。

両日とも酷暑となりましたが、2日のコーナーも盛況で、2日間合わせて過去最高の8,627名の方にご来場いただきました。



2018.8.6-2018.8.11

夏休み水泳教室

8月6日から8月11日までの(8月9日を除く)5日間、南山大学室内プールでの夏の恒例行事「夏休み水泳教室」を開催しました。

この教室は、小・中学生を対象に本学水泳部の学生が泳ぎ方を教える毎年人気の教室で、今年も受講者は100名を超える盛況ぶりでした。6種類のコースから希望コースを選択して泳力別に分けられたグループごとに練習を行い、たくさんの受講者の方々が楽しみながら泳ぎの上達を目指しました。



Special Events Schedule

2018.10.13

第52回宗教劇「受難」

10月13日(土)18時から第52回宗教劇「受難」を公演します。今年は学内改修工事のため、会場をバツェスクエアからフラッテンホールに移しての開催となります。

宗教劇「受難」はカトリック大学である本学を代表する伝統行事であり、イエス・キリストのエルサレム入城からゴルゴダの丘における十字架上の死を経た復活までを、大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員が演じます。出演はもちろんのこと、演出、脚本、衣装、メイク、情報宣伝など「受難」に関わるすべてのことを学生たち自身が行います。



明会などを実施します。また、個別相談コーナーや在学生によるキャンパスツアーも実施予定です。

詳細は大学公式Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。
<http://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>



2018.11.2-2018.11.4

大学祭「南山祭」

11月2日(金)から11月4日(日)までの3日間、大学祭「南山祭」を開催します。

今年のテーマは「bouquet(ブーケ)」。このテーマには、「様々な花からブーケが出来上がるように、一人一人が個性を出しつつ協力して、来場者の方々に喜んでもらえるようにする」という思いが込められています。

また、今年の大学祭では、南山チャレンジプロジェクト採択団体のITBが、「世界料理総選挙～食で世界をつなぐ～」を実施予定です。これは、7つの団体が出店する模擬店で、世界各国の料理を提供しながら、各団体に所属する留学生との交流を深めることを目的としています。

そのほか、学内団体によるステージ企画や、クラブ・サークルによる活動内容の展示・発表などさまざまな企画を用意しています。



2018.11.17

経営学部開設50周年記念式典

経営学部は、本年開設50周年(1968年開設)を迎えました。50周年を記念し、11月17日(土)に、パネルディスカッション、記念講演会、祝賀会を南山大学構内で開催します。

【記念講演会】
時間:14時45分～15時45分
場所:南山大学フラッテンホール(R棟1階)
講演者:岡谷篤一氏(岡谷鋼機株式会社取締役社長)
【記念祝賀会】
時間:16時00分～17時30分
場所:南山大学リアンカフェ
※南山大学経営学部卒業生を対象とし、事前申込制(先着順)となっています。対象者の方にはご案内用紙をお送りしております。たくさんのご参加をお待ちしております。

2018.12.22

南山大学・豊田工業大学連携講演会

12月22日(土)に、南山大学と大学間連携協定を締結している豊田工業大学との連携講演会を、豊田工業大学で開催します。

今回は、「技術と倫理」「持続可能な社会」を共通テーマとして、豊田工業大学副学長(大学院工学研究科)保立和夫教授と本学社会倫理研究所長(人文学部)奥田太郎教授がそれぞれ講演する予定です。
詳細は大学公式Webページ「南山大学・豊田工業大学 連携ニュース一覧」で11月頃にお知らせいたします。
https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/koho/toyokou_list.html



2018.7.6-2018.7.8

第59回上南戦

7月6日から7月8日の3日間にわたり、第59回上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)本戦を本学で開催しました。大会中は残念ながら雨天により



水泳	南山 221 - 197	上智
アイスホッケー	南山 0 - 7	上智
ゴルフ	南山 2 - 4	上智
準硬式野球	雨天のため中止	
硬式野球	雨天のため中止	
ハンドボール	南山 27 - 23	上智
ラクロス(女子)	南山 9 - 5	上智
サッカー	南山 1 - 2	上智
ラグビー	南山 0 - 69	上智
バドミントン(男子)	南山 2 - 3	上智
バドミントン(女子)	南山 3 - 2	上智
バレーボール(女子)	南山 3 - 1	上智
バレーボール(男子)	南山 1 - 3	上智
弓道(女子)	南山 40 - 33	上智
弓道(男子)	南山 88 - 70	上智

り中止となった競技が2種目ありましたが、各競技で熱戦が繰り広げられました。総合成績は南山大学13勝、上智大学16勝、引分け1で総合準優勝となりましたが、参加した選手たちをはじめ、応援団、OB・OGの方々、父母の皆さま、教職員など、関係者が一つとなり、各会場は大いに盛り上がりました。

柔道	南山 3 - 2	上智
剣道(男子)	南山 1 - 3	上智
剣道(女子)	南山 0 - 3	上智
軟式庭球(男子)	南山 5 - 3	上智
軟式庭球(女子)	南山 2 - 3	上智
陸上	南山 101 - 135	上智
洋弓(男子)	南山 3489 - 3633	上智
洋弓(女子)	南山 2285 - 2423	上智
ラクロス(男子)	南山 3 - 3	上智
アメリカンフットボール	南山 14 - 21	上智
バスケットボール(女子)	南山 50 - 47	上智
バスケットボール(男子)	南山 73 - 66	上智
フェンシング	オープン競技として実施	
少林拳法	南山 0 - 4	上智
卓球(男子)	南山 2 - 4	上智
卓球(女子)	南山 4 - 1	上智
硬式庭球(男子)	南山 9 - 0	上智
硬式庭球(女子)	南山 1 - 4	上智

優勝	上智大学
準優勝	南山大学
総合成績	13勝16敗1引分
第1回大会からの通算成績	南山17勝 上智37勝 引分5

上南戦 学生の声



第59回上南戦実行委員長
卓球部主将
豊田 幸輔
(法学部法律学科3年)

第59回上南戦が幕を閉じました。結果は13対16で惜敗。今回の結果を受けホーム戦績が14勝13敗になり、あと1敗で上智大学に並ばれてしまいます。来年はもちろんのこと、再来年のホーム開催では絶対に勝利を掴みとってほしいと思います。

さて、今年の上南戦の相手は上智大学と「雨」でした。初日は大雨で、準硬式野球・硬式野球が中止になってしまいました。雨による湿気のため開幕戦のハンドボールの試合が体育館から体育センターメインアリーナへ急遽変更になるというハプニングもありました。それでもスタッフおよび選手の皆さんの協力でなんとか時間通り進行することができました。2日目も雨は降りましたが中止になった競技は一つもなく、最終日は快晴で絶好の上南戦日和になりました。皆さんの七夕の願いが届いたからでしょう。

上南戦運営に関わってくださったすべての方々に深く感謝申し上げます。皆さまのおかげで上南戦が成功を収めただけでなく、僕自身成長することができました。来年以降も上南戦を楽しみにしています!

2018.7.13

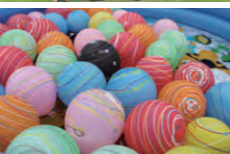
南山ゆかたフェス

7月13日に、南山ゆかたフェスを開催しました。昨年度に続き2回目となる開催で、浴衣を着ることで日本文化に親しみ、学生同士の交流を図ることを目的としています。今年は昨年度よりもさらに企画が増



え、当日は多くの学生・教職員が参加しました。

浴衣の無料着付けコーナー、浴衣販売、グリーンエリアでの大撮影会、お茶会体験、縁日、フォトコンテストなど、どのイベントも大盛況でした。



南山ゆかたフェス
実行委員長
谷口 綾美
(人文学部
日本文化学科4年)

約3か月の準備期間はスケジュール調整など大変なこともありましたが、昨年度の反省を生かし様々な工夫を凝らしました。その結果、当日は前年を上回る参加者数で、浴衣を着る楽しさをより多くの学生に味わってもらえたことを嬉しく思っています。今後もゆかたフェスとおして、浴衣をもっと身近に感じられるように皆さんをサポートしていきたいです。

陸上自衛隊初の女性連隊長に 南山大学での教養を胸に責務に邁進



澤村 満子
文学部仏語学仏文学科
1993年度卒業

Profile

卒業後、陸上自衛隊に入隊。2017年8月、第15代目となる第6後方支援連隊長に着任。陸上自衛隊初の女性連隊長として話題になった。山形・宮城・福島3県の防衛警備、災害派遣などに従事する第6師団に対して、あらゆる軍事的支援を担当、日々奮闘している。

私は陸上自衛隊で人事や装備行政に長く携わり、現在は第6後方支援連隊長として約700人の部下を束ねています。そもそも大学時代は自衛隊に興味がありませんでした。外交官を目指していたものの、南山大学で恩師から「外交と軍事は表裏一体だよ」と自衛隊を薦められたのです。そこで恩師の顔を立てるため、幹部候補生採用試験を受けたところ、まさかの合格。はじめは「辛かったら辞めればいか」と軽い気持ちで入隊しました。

入隊後は未知の世界に戸惑いの連続でした。幹部というだけで20名の部下が付き、何も知らない私を支え、真摯に働いてくれるのです。次第に部下が増えていくと、「この人たちのために命を逃がすことはできない」と感じました。

自衛隊は人材育成に熱心な機関でもあります。私自身も米国留学をはじめ、多くの学びの機会を与えられ、実力組織の指揮を執る責任感と使命感を養いました。キャリアを積むにつれて国際的な仕事にも携わるようになり、恩師の「外交と軍事は表裏一体」という言葉を実感。やりがいが増しました。

南山大学では仏文学を学びました。英語が上手な人はいくらでもいるので、違う言語を身につけたいの思いからです。講義は大変厳しいものですが、おかげで入隊後に防衛大学校の大学院にあたる防衛大学安全保障研究科で学んだ際も、フランス語の文献を読むことができました。その後もフランス語を使うことが、あらゆる場面でア

ドバンテージになったのは間違いありません。

南山の教育モットーは「人間の尊厳のために」です。その教えを身近に感じたのが、東日本大震災の時でした。とある離島に発電機を取り付けに行った時のこと。電気が付いた瞬間、悲しみに打ちひしがれていた人たちの表情がバツと明るく輝いたのです。その表情を見て、「どんな時でも人は希望を失うことはないんだ」とほっとしたと同時に、人としての尊厳を守るお手伝いができたことに喜びを感じました。

困っている人に手を差し伸べることができるこの仕事に従事できているのも、精神的な多様性を受け入れてくれる南山での経験が息づいているからこそ。とてもありがたく思っています。今後とも組織の力で社会貢献していくために、人を育て、能力を磨いていきたいです。



■ 後援会定例評議員会

2018年6月23日(土)、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で、南山大学後援会定例評議員会が開催されました。南山大学後援会は在学生の父母等によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から112名の方にご出席いただきました。

議事においては、(1)2017年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2018年度事業計画(案)および予算(案)について審議・承認され、2018年度は9月29日(土)に第46回「父母の集い」を開催することが決定されました。また、今年度の特別事業として、学生の課外活動施設建設(名古屋キャンパス施設設備計画(Ⅲ・Ⅳ期)のグラウンド人工芝整備、クラブハウス改修)の援助のために、「南山大学後援会基金規程」に基づき「課外活動援助基金」から1億円を取り崩すことが承認されました。

また、本評議員会をもって理事長を退任される米川信幸様に、鳥巢学長から感謝状と記念楯が贈呈されました。新理事長には木村隆剛様が就任されました。



後援会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/index.html>



後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2017年度決算	2018年度予算
収入の部		
前期繰越金	3,304,655	2,823,822
入会金	2,361,000	2,194,000
会費	189,010,000	184,410,000
課外活動援助基金取崩	0	100,000,000
合計	194,675,655	289,427,822
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	178,000,000	174,000,000
留学生支援活動援助費	(59,000,000)	(59,000,000)
教育研究図書援助費	(53,100,000)	(52,000,000)
履修関係費	(0)	(7,000,000)
広報活動援助費	(28,200,000)	(10,000,000)
課外活動援助費	(31,300,000)	(38,000,000)
就職指導活動費	(6,400,000)	(8,000,000)
グラウンド人工芝整備・クラブハウス改修援助金	0	100,000,000
後援会活動費	9,851,833	10,500,000
父母の集い	(1,733,691)	(2,000,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(5,795,921)	(5,900,000)
事務費	(1,122,221)	(1,400,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	2,823,822	527,822
合計	194,675,655	289,427,822

後援会貸借対照表

2018年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	167,732,489	課外活動援助基金	123,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	2,823,822
合計	167,732,489	合計	167,732,489

《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	119,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
合計	123,724,604	合計	41,184,063

■ 友の会評議員会・総会

2018年7月18日(水)、ホテル名古屋ガーデンパレスで、南山大学友の会評議員会・総会が開催されました。友の会は南山大学をご支援いただいている一般および法人会員によって組織されており、本年7月18日現在の会員数は一般会員285名、法人会員134法人となっています。

総会では、(1)2017年度事業報告および決算報告、(2)2018年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、今年度の友の会給付奨学金を授給する外国人留学生および日本人の派遣留学奨学生も参加させていただき、大原康之会長より奨学生採用通知書が授与されました。また、その後行われた懇親会の席において、奨学生と友の会会員の皆様との間で積極的な交流が図られ、友の会会員の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。



南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費]一般会員 1口 10,000円
法人会員 1口 30,000円
※何口でもお申込みいただけます。



友の会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/index.html>

■ 新任教員紹介

2018年7月1日付

●外国人留学生別科
語学講師(L.I.) 井手 友里子
(専攻分野:日本語学)

2018年9月1日付

●人文学部
教授 KISALA, Robert
(専攻分野:宗教学、宗教学史学)

教授 岩崎 典子
(専攻分野:日本語教育)

●外国語学部
教授 張 玉玲
(専攻分野:文化人類学、華僑華人研究)

講師 角山 朋子
(専攻分野:表象文化論、芸術学、芸術思想、デザイン史)

●経済学部
講師 赤星 立
(専攻分野:ミクロ経済学、メカニズム・デザイン、マッチング理論)

●総合政策学部
講師 BOSAKAIBO, Bomino Georges
(専攻分野:国際開発学、開発行政学、アフリカ研究)

●社会倫理研究所
准教授 MERE, Winibaldus Stefanus
(専攻分野:国際法)

●外国語教育センター
語学講師(L.I.) BAILDON, Martin
(専攻分野:英語教育)

●保健センター・人文学部
教授 中野 有美
(専攻分野:精神医学、臨床心理学、支持的療法、認知行動療法)

●外国人留学生別科
語学講師(L.I.) 土居 美有紀
(専攻分野:日本語学)

■ 退職

2018年6月30日付

●外国人留学生別科
語学講師(L.I.) 山田 真理

■ 寄附者ご芳名

「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

武鹿照崇様	野々部孝様	安川祐一様	浅野 浩様	梶山和子様	西野 彰様
大極達広様	永井信行様	水野登美子様	不破克憲様	鶴飼幹人様	林 克徳様
岩田正弘様	今西 隆様	岡本祐汰様	道下美樹様	鈴木瑠里子様	菱田 昭様
黒見泰弘様	加藤佳久様	岡本浩志様	長屋泰昭様	中村洋子様	藤井美咲様
青山一男様	三輪智恵様	米村 悠様	岩崎 章様	加藤洋子様	山内義之様
西本信治様	岩倉郁子様	岩瀬次郎様	小澤 潔様	味岡源太郎様	加藤雅毅様
杉浦 明様	熊谷慎太郎様	畑 中信明様	富田 節子様	大村博之様	
池田勇治様	三尾晋司様	村瀬俊高様	石井國久様		
日美江利子様	谷口健太様	斉藤寛子様	大西弥生様	愛知株式会社様	
鬼頭 博様	上谷直明様	杉山起夫様	澤井志歩様	辰巳屋興業株式会社様	
奥地英樹様	宮川 源様	武市直子様	稲垣光治様	南山大学後援会様	
野瀬 修様	浅野好昭様	成田栄寿様	水谷淳子様	匿名ご希望者 26名様	

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

荒川 俊男様 株式会社十六銀行様 株式会社トウメイ様 南山大学同窓会様 匿名ご希望者 2名様



2018.7.17

ペルーにある

本学交換留学協定校のペルーカトリック大学から、自然科学系共通教

育部長Jorge Moreno Ruiz教授が鳥巢学長を表敬訪問されました。ペルーカトリック大学の概要や学生支援の取り組みについてお話しいただき、本学と今後とも良好な関係を構築し合うことを確認しました。

